



ばなな組になって 2 か月が過ぎ、新しいクラスでの生活にもすっかり慣れて笑顔いっぱいであそんでいる子ども達。最近暑い日が続きますが、子ども達は暑さに負けず元気に外に出て遊んでいます。これから雨の日が増えジメジメしますが、水分をしっかりとりながら、いろいろな遊びを楽しんでいきたいと思ひます。

ダンゴムシどこかな？



気温が上がってきて園庭の虫たちの動きが活発になり、たくさんのダンゴムシが落ち葉の間から顔を覗かせるようになりました。虫探しが大好きな、ばなな組さんは「今日もダンゴムシいるかな？」「一緒に虫さん探そうよ」と草花の近くを探し、じーっと目を凝らして見て「あ、いた！」と上手にダンゴムシやアリを見つけています。最初は、「先生とつてよ」「こわい！」と様子を見ていた子も、友達や保育者が手に乗せたり、虫かごの中で見たりすることで少しずつ触ってみようとするようになりました。虫との触れ合いの中で、「ご飯入れてあげよっか」と葉っぱを取って入れたり、「ねんねしてるのかな？」とそっと触れたりして優しく接してあげようとする姿も見られています。日々、生き物と触れ合って遊ぶことで、小さな生き物の触り方や扱い方も学んでいる子ども達です。保育者と一緒に身近な生き物を見たり触れたりして遊ぶ中で、生き物に対する親しみや興味を深めていきたいと思ひます。



ピーマン大きくなってね

夏野菜を植えて育ててみよう、ばなな組ではピーマンと黄パプリカの苗をプランターに植えました。植える時には興味津々で葉っぱの匂いを嗅ぎ「う～ん、匂いせんな」と視覚だけでなく嗅覚でも観察していました。土のお布団を優しく掛け、水やりを手伝ってもらおうと早速、その日の午睡の時には窓からピーマンの苗を見て「大きくなったかな？寝たら大きくなってるかかな？」とワクワクする子ども達でした。晴れた日には水やりを積極的に行ってきています。

ある日、ピーマンの実が大きくなっていることに気が付いた子ども達。「うわ～！大きくなってね！」「ピーマンの赤ちゃんもいるよ」と新たに成っている実も見つけて保育者と一緒に大喜びでした。どんどん実をつけて少しずつ大きくなってきています。収穫したら、給食の先生に調理してもらい、試食してみたいと思ひます。みんなで育てたピーマンとパプリカはどんな味がするのか楽しみです。



履けたよ！できたよ！

ばなな組になり、上履きを履いたり、自分でカバンを掛けたり、着替えをしたりなど、身の回りのことを自分でやってみる機会が増え、子ども達も自分でやってみたくて頑張っています。初めてのことは、なかなか難しくても保育者が「一緒にやってみようか」「大丈夫だよ」と言葉を掛け何度か一緒にやってみることでやり方が分かり、繰り返すうちに自信をもって「自分でできたよ！」と見せてくれることもあります。その時には「やったね！」「上手だね」とたくさん褒めて子どもと一緒にできたことを喜んで、次もやってみようと思ひにつなげることができるようになっています。子ども達の「自分でやりたい」気持ちを大切にしながら、また、自分でやりたいけどうまくできないという心の葛藤にも丁寧に対応していきたいと思ひます。



おねがい

- ☆持ち物には必ず名前の記入をお願いします。下着やおさがりの洋服、靴下などにも必ず本人の名前をかいてください。
- ☆自分で着脱しやすいように、体のサイズに合った衣服の用意をお願いします。